

ぼらっと

〔第4号〕

2009年12月24日



『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

発行元

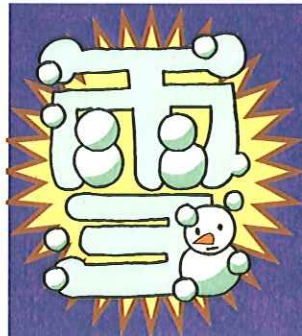
〒020-0541栗石町千刈田82-2

栗石町総合福祉センター内

栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 F A X/691-1140

e-mail/shizukuishi-VC@shi-sha.jp



栗石町

スノーバスターズ

高齢世帯でも不便や不安のない生活を!



今年も本格的に雪が降り始めました。そしてスノーバスターズの活動シーズンの活動は、1月9日(2月27日まで)です。ご存じの方も多いと思いますが、スノーバスターズの活動は、一人暮らしの人や夫婦老人世帯の自宅の雪かきです。同時に中高生に福祉に関心をもってもらおうという狙いもあります。

平成5年の発足当時から栗石中学校・高校にスノーバスターズへの参加を呼び掛け、毎年多くの中高生が参加しています。

スノーバスターズの活動を通して、印象的だったのは、おばあさんの笑顔です。玄関先生、表情がたちと話す時、生徒さんたちも恥ずかしそうに挨拶を交わしたり、なんとも微笑ましい姿で、この「声かけ」は、雪かきと同じくらい大切なことだと思います。

最近のバスターズが訪ねる時間は、すでに雪が降り終って、かき回すこともできません。状況も近所のみならず、雪かきをすることで、助け合っている感じが広がっています。

「雪かき」ということで、地域の人々が、地域の人々を助けるという輪が広がっています。

子どもたちも、善意が溢れる地域の様子も、変化させたいですね。



★お年寄りの方々にとって、冬の除雪は大変な作業のひとつです。そんな時、気軽に手伝ってくれる人がいるとありがたいものです。みなさんの時間を地域のために活かしてみませんか?

問い合わせ先:

♥町社協ボランティア活動センター

♥TEL:692-2230

♥担当:澤口・成田



スノーバスターズボランティア 大募集!!





声のおたより ランニングより



「声のおたよりボランティア」は、『広報しずくいし』『議会だより』などを録音して音声化し、リスナー(主に目の不自由な方)に届けて聞いていただく、という活動を行っています。

現在会員数10名で、和気あいあいと、録音作業を行っています。そこで、いっしょに活動していただけるボランティアさんとリスナーの方を募集しております。

★活動場所★

● 栗石町総合福祉センター

★日 時★

● 毎月第3月曜日

(祝日の場合は次の日)

★対象者★

● リスナー!

カセットデッキをお持ちの方

● ボランティア!

参加してみたいという方なら

どなたでも。

★問い合わせ先★

● 町社協ボランティア活動センター

692-2230

お待ちしております
まあ〜す!



今回は、ふれあいサロン「この指とまれ」代表、南黒沢麻子さんです。

質問(以下●)：サロ
ンでボランティア

(以下▽)を始めたいきっかけは何ですか?
南黒沢(以下●)：昔は、いどばた会議というのがあったでしょ。でも今はなくなってきた。高齢者が多くなってきた。年齢が重なってきいて話をして、みんなで集まったりお話をしたり、そういう場所がなくなってきたでしょ。だから、そういう場所を見守っていききたいなあ、と思いました。」

教えて! NPO



このコーナーでは、NPO法人しずくいし・いきいき暮らしネットワークからの最新情報や町内のNPO団体を隔月で紹介し

ます。
第2回目は『わらしやんど栗石』。わらしやんど栗石は、「栗石町の子育て団体や地域社会の人々と協力し合いながら、児童の居場所づくりや子どもを育てる援助活動を通じて、安心して子どもを生き育てることが出来る環境をつくり、生き生きとした心豊かな地域社会の構築に貢献すること」を目的として、平成19年に設立されました。

主に、「保育サービスの提供事業」「高齢者・障がい者及び児童の福祉の向上を図る事業」「青少年の健全育成を図る事業」などの活動を行っています。

活動場所は、栗石町児童館(町から指定管理を受けています)です。

- 「この指とまれ」の特徴は、様々な行政区から会員の方々が集まっていること(多くのふれあいサロンは行政区ごとです)だと思っ
- 「苦労はないですよ。楽しいことばかりですから(笑)」
- 「では、楽しいサロンにする秘訣とはなんですか？」
- 「違う人生を歩んでこられた方々が集まっているわけですから、各々の自発性を大切にしています。こうし



ましよう、ああましようという決りたりしないで、みなさんが自然体で楽しめる場所であるようにしています。先程、苦労はないと言いましたけど、辛いことはありまして…会員の方々が病気になるたり亡くなったり、年齢層が幅広いですから。これも自然の流れなのでしようけど、辛いですね。生と死を目の当たりにする。見守っていくのが私の役割とはいえず、辛いです。」

●「では最後に一言お願いします。」

●「男性の会員がいないのでぜひいらして下さい。」

辛いことを一緒に乗り越えていけるようなボラ活センターづくりをしていきたいと思えます。

ボラ活のマーカからのお知らせ



隠れボランティアさん情報募集中
お近くに、「ボランティア団体には所属していないのだけど、ボランティアをしている」という方々はいませんか? いらっしゃいましたらお知らせください。

★担当: 澤口・成田

編集後記

今年もボランティアの方々にはお世話になりました。ありがとうございました!